

□高岡銅器伝統着色 × 透漆塗(すきうるし)



□叢雲塗 (むらくも)



Copyright 刻印、証紙シール付き



材質：ブロンズ

商品名	品番	JAN	サイズ	仕上げ	重量	内容	価格
マジンガーZ 高岡銅器 × 輪島漆芸 透漆塗 (すきうるし)	ST-070	4560399738787	W160 × D70 × H200mm	高岡銅器 伝統着色	約2.1kg	本体 取扱説明書 化粧箱 証紙シール付き	¥330,000 (税込み ¥363,000)
マジンガーZ 高岡銅器 × 輪島漆芸 叢雲塗 (むらくも)	ST-071	4560399738794		輪島漆芸			

※製法上、製品重量にバラツキが生じます。 ※製品の色は印刷具合等により、実際の色と異なる場合があります。 ※製品の仕様は改善の為、予告なく変更する場合があります。
Made in Japan

企画 製造 販売
株式会社 ナガエ アート事業部
〒933-0319 富山県高岡市荒屋敷278
TEL.0766-31-2797 FAX.0766-31-6777
<https://nagae.co.jp/>



資料 No. CA065-01 【26/03】

マジンガーZ

©永井豪/ダイナミック企画
株式会社ナガエ



[富山] [石川]

高岡銅器 × 輪島漆芸



マジンガーZ



地域を超えた作家の共作は
伝統工芸技能の伝承と
永続する価値を創造する。

[富山] [石川]
高岡銅器 × 輪島漆芸

□高岡銅器 伝統着色 × 透漆塗 (すきうるし)

伝統の「透き漆」が織りなす、深みと透明感。色漆の上に透明漆を重ねる技法により、角部分から色が透ける繊細な表情が生まれます。半年から1年をかけて漆の透明度が増し、落ち着いた色調から鮮やかな発色へと育つ、時間と共に深まる美しさをお楽しみください。

作家プロフィール

●高岡銅器伝統着色 伝統工芸士

橋本 哲二 (富山県)
富山県生まれ。経済産業大臣認定 伝統工芸士。40年以上の経験と実績を伴い金属や漆の特性を生かし様々な伝統技法を用いて、高岡銅器製造プロセスの最終段階である着色を担っている。その技術を背景に、文化財の修復、アート作品とのコラボレーションも精力的に行っている。



●輪島の漆芸作家

篠原 今日子 (石川県)
大分県生まれ。香川県漆芸研究所 (2016)、石川県立輪島漆芸技術研修所を修了 (2021)。大徹八井漆器工房での研修を経て現在に至る。2025年 輪島塗技術伝承事業時絵部門伝承者修了。磨き上げた「漆、加飾技法 (蒔絵・沈金・蒔番・存星・彫漆)、乾漆、呂色、研ぎ」技能で、温度や空気感までも作品に落とし込む気鋭の作家。

□高岡銅器 × 叢雲塗 (むらくも)

高岡銅器と伝統の塗り、その響き合い腕や脚部に施された「叢雲塗」は、漆が固まる前に和ろうそくで炙り、煤で模様を描く技法。炎のゆらぎがそのまま意匠となり、唯一無二の表情を宿します。職人の手仕事が生む、一点ごとに異なる表情をお楽しみください。胸部の赤い放熱板は炭粉や金粉、漆を幾重にも塗り重ねた「炭粉時乾漆粉仕上」。研ぎ出しの工程を繰り返すことで、素材が複雑に混ざり合った奥深い質感を引き出しています。